

米子市まちづくり活動支援交付金 事業報告会資料（令和2年度事業）

【各団体資料】

<ちょっとし活動コース>

- | | |
|-----------------------|------|
| ① スポレク米子 | P 1 |
| ② 米子の町家・町並み保存再生プロジェクト | P 5 |
| ③ 福祉従事者の未来を守る会 | P 27 |

<がいな活動コース>

- | | |
|-----------------------------|------|
| ④ 特定非営利活動法人発達障がい児親の会 CHERRY | P 30 |
|-----------------------------|------|

<継続活動コース>

- | | |
|----------|------|
| ⑤ 環境保全の会 | P 34 |
|----------|------|

スポレク米子

実施期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日		
団体名	スポレク米子	代表者	高平 勇生
団体の主な活動			
<ul style="list-style-type: none">○ スポーツ振興による地域交流と地域活性○ 心身と精神の健康保持増進、生活習慣病の予防、ストレス解消○ 社会との連帯と人との交流、豊かなライフスタイルの創造○ 県外からの転入者も米子の街と人が好きになる住みたいまちづくり○ 誰でも自由に参加できるスポーツレクリエーション活動			
毎月、火曜日19時～21時 市内地域体育館で様々なスポーツ活動を行う。			
総事業費	116,202円	交付金額	80,000円

様式第8号（第11条関係）

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	スポレク 米子
事業目的	スポーツ振興による地域交流と地域活性。 健康保持増進、生活習慣病の予防、ストレス解消。 社会との連帯と人との交流。豊かなライフスタイルの創造。
事業実施場所	米子市地区体育館、その他東山テニスコート、文化活動館、野外など
事業の対象者	希望者参加自由
事業概要	<p>① 主なる活動として、火曜日 19:00～21:00 市内地域体育館でバスケット、バレー、バトミントン、卓球、ドッヂボール、フリスビー、インディアカなどのスポーツを行った。</p> <p>② その他に、今年新たにテニスや卓球の日を別に設けた。東山テニスコート、淀江体育館、米子市文化活動館などで行った。</p> <p>③ 毎週月曜日か火曜日 19:00～に野外で海岸ウォークを行った。 コース各 6 キロぐらい、皆生海岸コース、弓ヶ浜海岸コース、日吉津淀江海岸コース、中海水鳥公園周辺コース、米子駅～錦公園～城山コース、など。</p> <p>④ イベントとして花回廊遠足、イルミネーションナイトウォークも行った。 またコロナ感染予防の対策をたてて、状況を図らいながら、秋には日吉津海浜公園での BBQ 大会を行った。 恒例のクリスマス会などのイベントは中止した。</p> <p>①～④の活動を行い、地域交流や親睦を深めている。</p>
事業効果	コロナ感染予防対策で、活動できない期間もあったが、対策を立てながらできる活動を検討して、人数分散のために新たに卓球部ができたり、野外活動としてウォーキングチームができ、スポーツとコミュニケーションの場を提供できた。 火曜日の体育館の人数も安定して多く、参加者の心身の健康増進の助けとなつた。
今後の取り組み 次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。	コロナ感染予防対策、自粛の折で、当初検討していたラケットなどのスポーツ用品、種目を増やして、体育館活動を年代層広げていくことはできなかつたが、野外の活動も試みて、ウォーキングチームや卓球部が始まったように、今後いろいろな広がりを検討していきたい。また、ファミリーバドミントン、ファミリーテニスなどの簡易的で誰でも楽しめる備品を増やし、子供からお年寄りまで気軽に楽しく参加できる準備を進めていきたい。今後、人の集中を避けるためにも、時間帯も昼の活動を検討して、新たな基盤づくりを模索している。住みよい楽しいまちづくりのためにも、誰でも参加でき、体を動かし、人と人の輪が広がる場を提供できたらと計画し願っています。申請時の留意点にあがつたスポーツ保険に昨年 8 月から加入了。今後、スポーツ保険の保障内容の充実も検討していくたい。

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第9号（第11条関係）

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
市からの交付金	80,000	5,000	△75,000	
自己資金				
事業収入	40,000	111,202	71,202	会費他
その他の				
合 計	120,000	116,202	△3,798	

2 支出の部

(単位：円)

	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
交付金対象経費	報償費				
	旅費				
	需用費	84,000	65,514	△18,486	貸出用スポーツ用品、シャトルなどの消耗品
	役務費				
	委託料				
	使用料及び賃借料	36,000	36,040	40	テニスコート、体育館、運動室など
	その他の		8,820	8,820	損害保険ジャパン
小計		120,000	110,374	△9,626	
その他の経費	未精算保険料(3月末)		5,828	5,828	
	小計		5,828	5,828	
合計		120,000	116,202	△3,798	

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。



町家等の歴史的な建築物を活かした まちづくり活動報告書作成事業

実施期間	令和2年6月1日～令和3年3月31日		
団体名	米子の町家・町並み保存再生プロジェクト	代表者	金澤 雄記
団体の主な活動			
<input type="radio"/> 町家・町並みの調査・研究に関する事業 <input type="radio"/> 町家・町並みの保存・再生の促進に関する事業 <input type="radio"/> 行政等への施策提言等情報発信に関する事業 <input type="radio"/> その他、本会の目的を達成するために必要な事業			
総事業費	108,500円	交付金額	80,000円

様式第8号（第11条関係）

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	町家等の歴史的な建築物を活かしたまちづくり活動報告書作成事業																
事業目的	町家を米子市の都市資産と捉え、現存する町家の保存再生を促進していくためにも、町家そのものの重要性や価値を再発見していくような取り組みを進めていくことが重要であり、その価値や評価を明確にしていく必要がある。 当団体は2013年に設立以来、これまで、米子市の中心市街地に残る歴史的な建築物である町家や町並みを活かしたまちづくりに関する調査・研究を進めており、これまでに蓄積してきた情報を整理し報告書として取り纏め、市民の皆さんが町家の利活用を進めるために必要な情報を提供し、米子市中心市街地の活性化に資する。																
事業実施場所	米子市中心市街地（旧城下町エリア）																
事業の対象者	プロジェクトのメンバー12人、市民160人																
事業概要	<p>1 市民の皆さんに米子の町家の価値を認識していただき、町家の保存・再生・活用の取組みを推進していただけるよう、そのために必要な情報を2013年から2019年までの当団体の活動状況及び米子の町家や近代建築の概要を分析・整理・取り纏めた活動報告書を制作した。 製作部数:160部　頁数:14頁、白黒・カラー、サイズA4縦、縦区とじ、両面印刷、上質紙</p> <p>2 行政等が町家を活用したまちづくり施策を進めていくために参考となる基礎的な町家データを取り纏めた町家調査報告書を制作した。 製作部数:2部　頁数:128頁、白黒・カラー、サイズA4縦、縦区とじ、両面印刷、上質紙)</p> <p>3 町家プロジェクトの活動の成果を広く市民に提供することを目的に、米子市立図書館にて活動報告会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動 <ul style="list-style-type: none"> 町家の基礎調査（悉皆調査、実測調査）について 町家再生利活用の実践（旧茅野家再生プロジェクト）について 意識啓発（米子まちづくり団体交流会）について ・町家調査報告 <ul style="list-style-type: none"> 明治150年米子のまちなみ『米子の建築 明治・大正・昭和』 発表者 和田嘉有 米子の町家 発表者 金澤雄記 ・with時代の観光まちづくり 発表者 川越博行 <p>4 活動状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>種別</th> <th>場所</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月23日</td> <td>編集委員会</td> <td>観光案内所</td> <td>委員会構成決定等</td> </tr> <tr> <td>7月29日</td> <td>編集委員会</td> <td>観光案内所</td> <td>報告書製作スケジュール決定等</td> </tr> <tr> <td>8月26日</td> <td>編集委員会</td> <td>観光案内所</td> <td>報告書構成検討等</td> </tr> </tbody> </table>	月日	種別	場所	内容	6月23日	編集委員会	観光案内所	委員会構成決定等	7月29日	編集委員会	観光案内所	報告書製作スケジュール決定等	8月26日	編集委員会	観光案内所	報告書構成検討等
月日	種別	場所	内容														
6月23日	編集委員会	観光案内所	委員会構成決定等														
7月29日	編集委員会	観光案内所	報告書製作スケジュール決定等														
8月26日	編集委員会	観光案内所	報告書構成検討等														

	9月30日	編集委員会	観光案内所	原稿分担決定等
	10月28日	編集委員会	観光案内所	進捗状況確認等
	11月25日	編集委員会	観光案内所	進捗状況確認等
	12月23日	編集委員会	観光案内所	原稿取り纏め
	1月27日	編集委員会	観光案内所	編集・構成作業等
	2月24日	編集委員会	観光案内所	編集・構成作業等
	3月1日	編集委員会	観光案内所	チラシ印刷
	3月10日	編集委員会	観光案内所	町家調査報告書印刷・製本
	3月12日	編集委員会	観光案内所	活動報告書印刷・製本
	3月14日	活動報告会	市立図書館	参加者約70名(定員60名)
	3月31日	編集委員会	観光案内所	活動総括等
事業効果	現存する町家の保存再生の取組みの意義を町家の所有者、一般市民、行政に伝えることができた。中心市街地に残る歴史的な建築物である町家や町並みを活かしたまちづくりの推進につながったのではないか。			
今後の取り組み 次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。	活動報告書や町家調査報告書などのデータも活用し、米子の町家や町並みの素晴らしさを広く市民に知っていただくために、エリア毎又は性質毎に整理し紹介するブックレットの制作に取り組みたい。制作にあたっては、町家だけでなく土蔵、社寺、近代建築、地蔵など評価の高い有形物のほか失われた建造物なども含める考えである。			

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第9号(第11条関係)

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位:円)

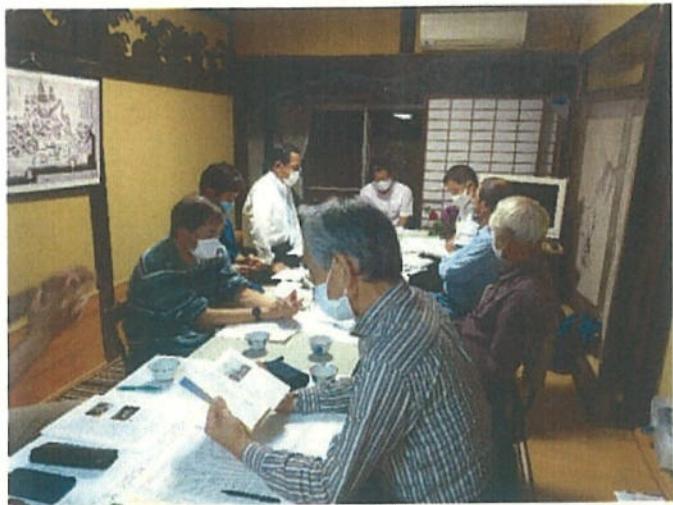
科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考(積算内訳)
市からの交付金	80,000	80,000	0	
自 己 資 金	20,000	28,500	8,500	会費 2,000×12人+1,500×3人 =28,500円
事 業 収 入	0	0	0	
そ の 他	0	0	0	
合 計	100,000	108,500	8,500	

2 支出の部

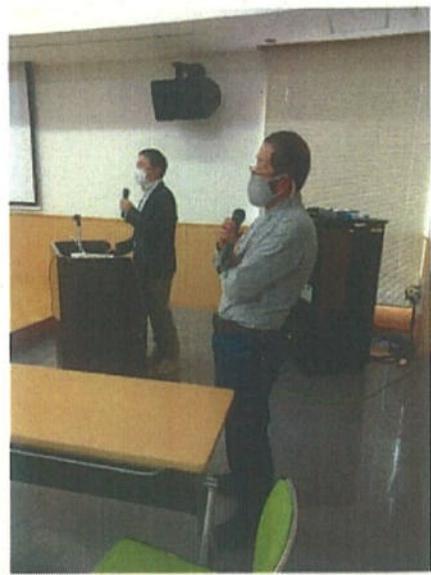
(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考(積算内訳)
交付金対象経費	報 償 費			
	旅 費			
	需 用 費	62,000	83,780	21,780 編集委員会資料@10×1,607枚+@30×167枚=21,080円 活動報告書 @10×640枚+@30×1,600枚=54,400円 町家調査報告書@30×256枚=7,680円 報告会ちらし @10×62枚=620円
	役 務 費	2.000	0	▲2.000
	委 託 料			
	使用料及び賃借料	16.000	24.720	8.720 会議室使用料 案内所 @2,000×9回=18,000円 図書館 @6,720×1回=6,720円
	そ の 他	20.000	0	▲20.000
	小 計	100,000	108,500	8,500
その他の				
	小 計			
合 計	100,000	108,500	8,500	

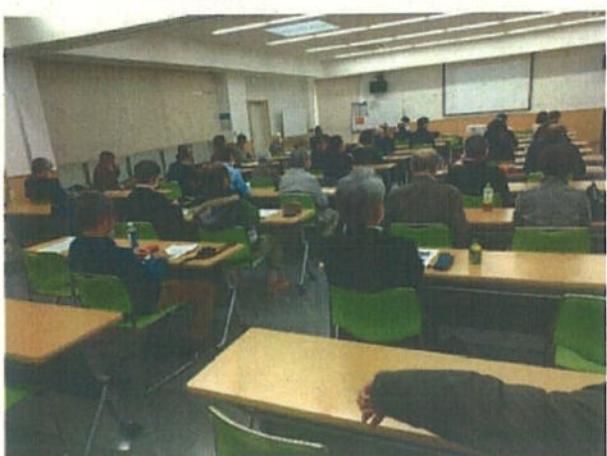
(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。



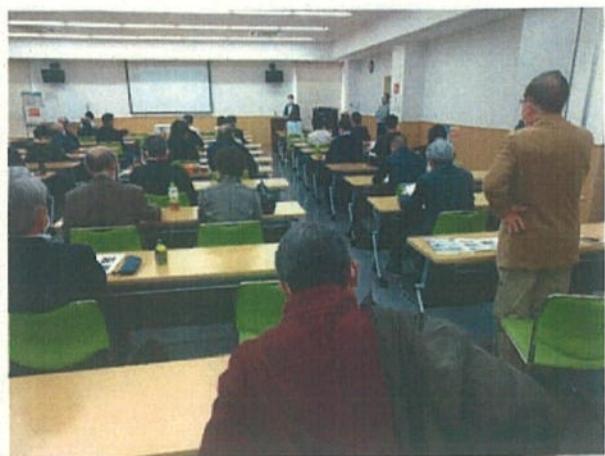
編集委員会



活動報告会



活動報告会



はじめに

米子の町家・町並み保存再生プロジェクト会長

(広島工業大学工学部建築工学科准教授)

金澤雄記

平成 23 年度に有志により「米子の町家・町並み保存再生プロジェクト」を立ち上げ、はや 8 年目を迎えた。これまでの主な事業の 1 つとして米子旧城下町に残る町家の悉皆的な現状把握と調査を行った。旧城下の町家は年々取り壊されてゆく現状であるが、「歴史的、文化的資源」であることから、町並みの形成要素としての価値を認識し、1 棟でも多く後世まで残り、今後まちづくりの 1 つの要素として役立てていければと願っている。

そこで、これまでの活動によって得られた知見や情報を共有するため、令和 3 年 3 月 14 日に米子市立図書館にて「米子の町家・町並み保存再生プロジェクト報告会」を開催した。本報告書資料は配布資料である。

なお令和 3 年度には本報告会をもとに、米子の町家や町並みを平易に概説した一般向けの調査報告書（ブックレット）を制作予定である。

米子の町家・町並み保存再生プロジェクト 活動記録

平成 23 年度より、町家・町並みの保存・再生を図り、米子の町家・町並みを活かした魅力的かつ持続性のある米子のまちづくりの推進に寄与することを目的として「米子の町家・町並み保存再生プロジェクト」を立ち上げ活動を始めた。これまでの活動としては大きく 3 つあり、①米子の町家・町並みの基礎調査、②旧茅野家保存再生プロジェクト、③米子まちづくり団体交流会の企画開催である。

①米子の町家・町並みの基礎調査

平成 25 年度より米子高専建築学科の学生とともに町家や町並みの調査研究活動を行っている。まず平成 25 年度から 2 年がかりで米子城下町に残存する町家の現状把握のため 26 町の町家すべてを歩いて残存状況や規模を確認し、建築年代を推定した。概ね米子旧城下において住宅地図による総世帯数約 2750 件のうち、約 730 棟の町家が残存していることがわかった。また外観より建築年代を推定し整理すると、江戸期にさかのぼる古い町家は多くなく、明治中後期から大正、昭和前期の築 100 年程度の町家が多く残存していた。さらに規模に関しては概ね間口が 2 間から 2 間半の町家が大多数を占めており、狹小な町家が密集している現状をみると往時は商業の町として栄えていたことが伺える。

あわせて町家の内部調査や実測調査も行い、町家の図面化を行いながら米子の町家の特徴を明らかにしている。平成 25 年度には法政大学の学生との共同調査研究を行い、水路に面する町家の特徴を明らかにした。平成 26 年度以降は米子高専の学生により職種別の悉皆調査を行っており、これまでに二戸一の町家（二軒家）、旅館・呉服屋・材木屋の町家を中心に調査研究を行った。



法政大学学生による町家調査

②旧茅野家保存再生プロジェクト

米子の町家や町並みの現状把握の調査を進める中で、町家の実際の保存活動の試行と、活動拠点づくりの必要性から平成 28 年度に「旧茅野家保存再生プロジェクト」が始まった。平成 28 年度には外観の復元的な改修を行い、29 年度には一階内部の床上の改修を行った。平成 30 年 4 月には「一般社団法人米子観光まちづくり公社」が発足し、旧茅野家を「米子まちなか観光案内所」として利活用することになった。各種イベントや定期市の開催により地域住民のコミュニティサロンとしての活用や、重文民家の後藤家にも近いため観光の拠点となっている。平成 31 年度には補強ダンパーによる構造補強も行った。



米子高専学生による改修ワークショップ

③米子まちづくり団体交流会の企画開催

米子では平成 20 年頃から旧城下町での町家・空き家・町並みの保存・再生活動や、まちづくり活動が活発になってきていた。ただ各団体の守備範囲や活動の得意分野が異なることから、横のつながりを持ち情報交流する必要性が生じつつあった。そこで平成 27 年より毎年年度末の 3 月に「まちづくり交流会」と題して意見交流会を開催することとした。平成 27 年 3 月には「第 1 回米子まちづくり団体交流会」として、手始めに 5 団体（米子の町家・町並み保存再生プロジェクト・よなごの宝 88 ・NPO 法人まちなかこもんず・米子建築塾・NPO 法人夢蔵プロジェクト）が集まり、団体の設立経緯やコンセプト、活動内容などの情報交換を行った。

平成 28 年 3 月には「第 2 回米子まちづくり交流会ー町家・空き家を活かしたまちづくりー」として、広島県尾道市で先進的な空き家利活用活動を行う「NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト」代表の講演と、松江市の「NPO 法人まつえ・まちづくり塾」と「松江建築研究会」、大山町の「築き会」の活動報告と通じ、他地域の事例を学び広域的なつながりを図った。あわせて平成 27 年 10 月には尾道空き家プロジェクトの案内で尾道の空き家改修事例の見学を行った。

平成 29 年 3 月には「第 3 回米子まちづくり交流会」として、初心に戻り米子で現在進行中の身近な活動報告を行った。平成 30 年 3 月には「第 4 回米子まちづくり交流会」として、各団体の活動報告と、米子の空き家活用事例として「山陰ステキ不動産」の角氏より住居やゲストハウスに改修した事例紹介があった。平成 31 年 3 月には「第 5 回米子まちづくり交流会」として、同じく各団体の活動報告と、「山陰ステキ不動産」の角氏より町家を維持する心得と、「一般社団法人米子観光まちづくり公社」の川越氏より「米子まちなか観光案内所」の設立経緯と活動内容に関する報告があった。令和 2 年 3 月の「第 6 回米子まちづくり交流会」はコロナ禍の影響により交流会を中止し、旧茅野家に設置した補強ダンパーの見学のみ行った。

今後も年度末の恒例行事として継続して交流会を開催する予定である。

以上が米子の町家・町並み保存再生プロジェクトの平成 25 年度より 7 年間の活動報告である。今後はこれまでの活動内容を整理し、調査成果を広く活用するため、令和 2 年度には米子市への活動報告書の提出し、年度末に報告会を計画している。令和 3 年度には市民向けのブックレットの制作を目指とし、その取り組み(企画等)を始めている。



展覧会の開催



第 1 回米子まちづくり交流会

①米子の町家・町並み保存再生プロジェクト報告会（2021年3月14日）

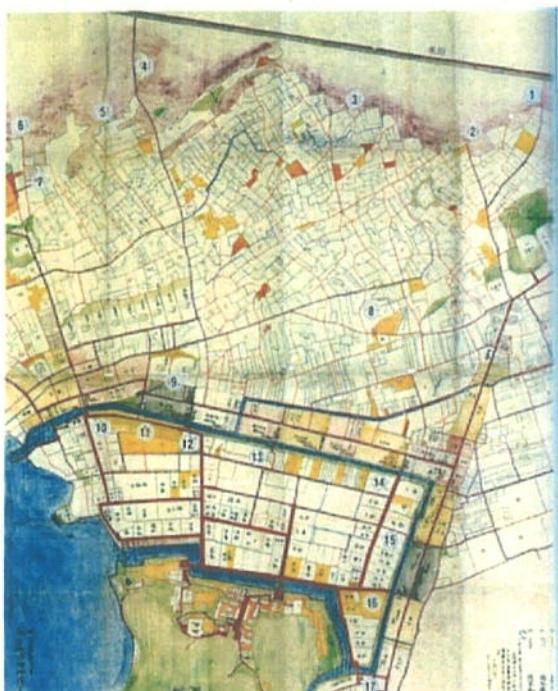
明治150年 米子のまちなみ
「米子の建築 明治・大正・昭和」

和田嘉宥

1. 近代米子の揺籃期（慶應4年～明治22年）

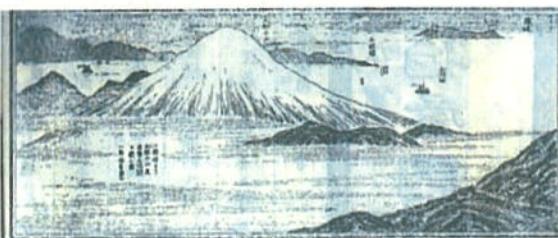
①近代米子のあけぼの

- 慶應4年2月 山陰道鎮撫師西園寺卿下向
明治4年7月 廃藩置県、鳥取県誕生
明治5年7月 米子勸業社（民間金融機関）創設
明治6年 区制実施（大区、小区）
明治9年8月 鳥取県廃止、島根県に合併
明治14年9月 鳥取県再置
因伯の対立により、鳥取県再置反対運動が起る

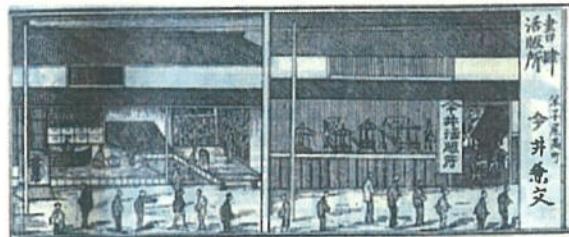


米子町全図（明治3年）

②『山陰道商工便覧』に見る米子



二部崎ヨリ大船上山及出雲三保閣ヲ望ム圖



書肆・印刷所今井兼文



第八十二銀行米子支店 各府縣御定宿 岩佐宇吉



貸席 瀬町1丁目 いろは樓

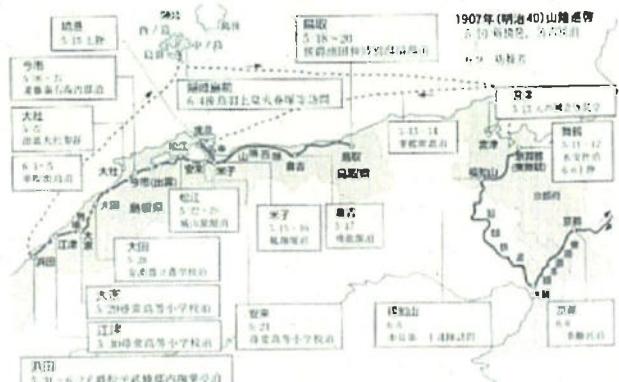
③米子町誕生（明治22年～昭和2年）

- 明治22年10月、市町村制制定より米子町誕生。
明治23年頃 島根県、会見県とする2案が浮上
明治24年10月 米子商工会発足
明治43年 米子税務署新築（米子初の洋館建築）
大正6年 米子町庁舎新築



2. 成長期（明治 30 年代～大正時代）

- 明治 35 年 山陰線（境-米子-御来屋間）開通
 明治 36 年 米子県設置請願運動
 明治 40 年 東宮殿下山陰行啓
 明治 45 年 山陰線（京都-出雲今市間）全通
 同 年 全国特産品博覧会を開催
 大正 6 年 米子町新庁舎落成
 大正 7 年 後藤工場できる
 大正 11 年 加茂町に博愛病院新築開院
 大正 13 年 法勝寺鉄道（電車）の発足
 大正 14 年 皆生電車の開通
 大正 15 年 上水道給水開始（水源地竣工）



明治 40 年 東宮殿下山陰行啓ルート



↑「米子町全図」（大正末）

↓「米子鳥瞰図」（昭和初期）



3. 熟成期（米子市発足以後～戦後）

地図で見る米子の変遷（明治・大正・昭和）

①昭和初期の米子市街地

- ・「米子鳥瞰図」に見る米子（昭和5年頃）
- ・昭和10年頃の米子市街地中心部

②米子市制施行

昭和2年4月市制実施（人口31,696人、戸数6,903戸）

市制実地に伴う都市計画法適用は昭和3年9月に許可。「グレイト米子の出現」「人口10万都市への夢」などと当時の新聞は報道。同法により、街路網計画の実施、市街地建物法の施行、港湾の改修、下水道の整備が行われ、近代都市としての米子の発展が進められた。

米子市役所旧館

工事概要（「記録板」の一部）

工 程	
地鎮祭	昭和4年9月6日
起工式	昭和4年9月10日
上棟式	昭和5年3月21日
落成式	昭和5年7月1日
工事期間	294日
総延人員	13,500人
建築規模	
敷地面積	1039坪2合2勺（3429m ² ）
建築面積	213坪7合7勺（705m ² ）
延床面積	627坪2合1勺3才（2,070m ² ）
正面幅員	25間3分（約46m）
左側面幅員	16間1分（約29m）
右側面幅員	5間5分（約9m）
軒 高	53尺5寸（16.21m）
塔屋尖端まで	58尺5寸（22.64m）
仕様の概要	
[外観]	
表側：白色人造石塗り及び硬質タイル張り 腰部、人造石小叩き仕上げ	
裏側：モルタル塗	
[内部]	
天井：議場のみセロテックス張り その他は漆喰塗	
壁：玄関の一部と階段腰部は モルタル塗りペンキ仕上 その他は漆喰塗	
主要室のみ壁紙張り	
床：玄関階段室は人造石研出し 各事務室リノリウム敷、一部米松縁甲板張り	
[開口部]	
外部：スチール製外開き	
内部：ペンキ及びステイン仕上げ	

昭和5年（1930）、10万都市を想定して建てられた米子市役所旧館は米子市制を象徴する建築（米子市指定文化財）。90年間、米子市の発展とともに歩み続け、現在、その利活用が求められている。

その他の建築物

（戦前）

山陰電気米子営業所（昭和5年）（現存せず）

米子商工会議所（昭和6年）（現存せず）

坂口合名ビル（昭和6年）

灘町後藤（昭和10、16年）大工棟梁；北村捨次郎



昭和10年頃の市街地中心部

（戦後）

米子市公会堂（昭和33年）設計；村野藤吾

市制30周年記念事業として建築

心光寺本堂（昭和51年）設計；安田臣

（参考文献）

- ①『鳥取建築ノート』（1991）
 - ②『とつとり建築探訪 県民の建物百選』（1998）、
 - ③『鳥取県の近代化遺産』（1998）
 - ④「建築の変遷」（『新修米子市史 第三巻 通史編近代』（2007）
 - ⑤『鳥取県の近代和風建築』（2018）
- その他

「米子の近代建築 明治・大正・昭和」略年表

西暦	和暦	米子の近代化に関わる出来事	建築関連事項
	月		
1968 明治 1	1	1 西園寺山陰道鎮撫総督一行来米	西園寺公、鹿島分家に滞在
1871	4	7 廃藩置県、鳥取県誕生	
1876	9	8 鳥取県廃止、島根県に合併	
1881	14	9 鳥取県再置に伴い、米子を中心に再置反対運動起る	
1882	15		第八二銀行（第三銀行）米子支店開設
1884	17	1 大阪商船定期航路開設（安来-米子-境-大阪）	
1889	22	10 市町村制制定に伴い米子町誕生	
	23	鳥取・島根両県を一県とし、米子の県庁を置く案浮上	
1891	24	5 米子製糸合名会社設立	米子製糸合名会社設立（末広町）
	10	10 米子商工会発足	
1894	27		2 米子銀行創立
1896	29	29 米子税務署設置（西町）	5 山陰貯蓄銀行米子支店開設
1897	30		2 中国貯蓄銀行設立
1899	32		4 県立第二中学校創立（勝田町）
1902	35	11 境-米子-御来屋間鉄道開通、米子駅・後藤駅開業	
1904	37		3 米子町役場庁舎（中町）
1905	38		3 米子製鋼所設立（久米町）
1906	39		4 岡山専売局米子出張所設立（勝田町）
			11~12 米子公園に公会堂、鳳翔閣竣工
1907	40	5~6 東宮殿下（後の明治天皇）山陰行啓 5, 15~17 二中行啓、御召列車乗車、御来屋行啓	後藤家長楽軒出来る
1909	42		12 山陰電気株式会社創設（加茂町）
1910	43		2 米子郵便局新築（西倉吉町、T14焼失）
1912	45	5~6 山陰線開通記念 全国特産品博覧会開催	4 第三銀行米子支店新築落成（四日市町）
1917	6		3 米子税務署新築（加茂町）
1918	7		
1920	9		12 米子町役場庁舎新築（中町）
1922	11	2 米子市制準備委員会発足	12 後藤工場創業開始、 山陰電気米子変電所竣工（道笑町3丁目） 岡山専賣局米子出張所工場新築（勝田町）
1924	13	8 法勝寺電車開通	
1925	14		6 博愛病院竣工開院（加茂町1丁目）
1926	15	1 米子駅-灘町-角盤町間電車開通	この頃 米子大酒店ビル建築（道笑町1丁目）
1926 昭和 2			4 上水道水源地竣工（車尾） この頃 旧岩井家具店（岩倉町） 3 米子郵便局再建（西倉吉町）
1927	3	4 米子市制実施（戸数6,903戸、人口31,696人）	
	1	1 米子駅-皆生間電車開通	
	9	9 市制施行に伴い都市計画法を適用（人口10万都市へ）	
1924	4	3 市庁舎焼失（損害55,000円）	
	5	5 日野橋開通	
1930	5	広島電気山陰支社ビル竣工	7 市役所新庁舎竣工（中町）
1931	6		この年 坂口合名ビル竣工（尾高町）
1935	10	市域の拡張（町数は66町）	この年 瀬戸後藤竣工（瀬戸町）
1940	15		5 米子山陰歴史館開館（2,600年記念事業）
1942	17	11 市制15周年記念式、市立米子図書館開館	
1950	25	4 鳥取県産業観光米子大博覧会開催	米子市公会堂竣工（角盤町2丁目）
1953	28	6 游山球場完成	この年 東光園本館竣工
1958	33		9 博愛病院新築移転（両三柳）
1964	39		心光寺本堂再建（寺町）
1970	50		米子市旧庁舎 米子山陰歴史館となる
1971	51		
1984	59		

「米子の町家」

米子の町家

鹿島工業大学工学部建築工学科准教授受
金澤雄記



■米子城下町の町家 外観調査

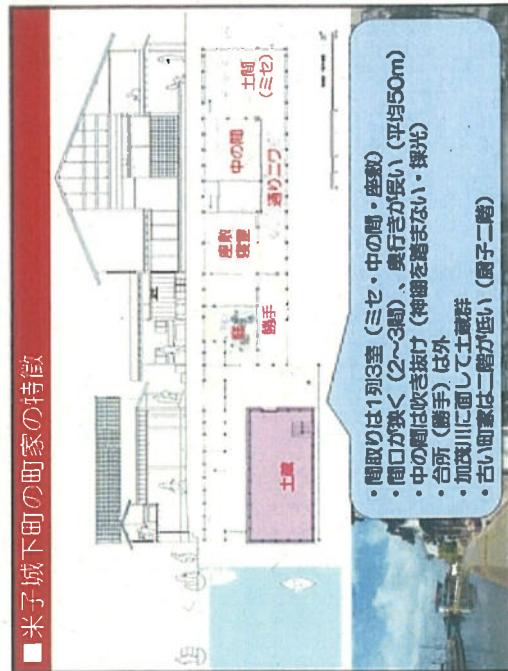
2750件のうち
町家が730棟残存
→約26%町家が残存

アーケード設置で
外観が改造されているため
外観から星雲年代が推定できなく

Q15	基础特征		需求特征		行为特征		交互特征		评价特征	
	年龄 (岁)	性别	学历	收入 (元)	职业	地区	设备	频率	喜好	余额
1	18	女	高中	5000	学生	北京	手机	每天	理财	1000
2	22	男	本科	8000	程序员	上海	电脑	每周	购物	2000
3	30	女	本科	12000	教师	北京	手机	每天	理财	1500
4	35	男	本科	15000	工程师	深圳	电脑	每周	购物	3000
5	40	女	本科	18000	医生	北京	手机	每天	理财	2000
6	45	男	本科	20000	律师	上海	电脑	每周	购物	3500
7	50	女	本科	25000	金融分析师	北京	手机	每天	理财	3000
8	55	男	本科	30000	金融分析师	上海	电脑	每周	购物	4000
9	60	女	本科	35000	金融分析师	北京	手机	每天	理财	4000
10	65	男	本科	40000	金融分析师	上海	电脑	每周	购物	5000
11	70	女	本科	45000	金融分析师	北京	手机	每天	理财	5000
12	75	男	本科	50000	金融分析师	上海	电脑	每周	购物	6000
13	80	女	本科	55000	金融分析师	北京	手机	每天	理财	6000
14	85	男	本科	60000	金融分析师	上海	电脑	每周	购物	7000
15	90	女	本科	65000	金融分析师	北京	手机	每天	理财	7000
16	95	男	本科	70000	金融分析师	上海	电脑	每周	购物	8000
17	100	女	本科	75000	金融分析师	北京	手机	每天	理财	8000
18	105	男	本科	80000	金融分析师	上海	电脑	每周	购物	9000
19	110	女	本科	85000	金融分析师	北京	手机	每天	理财	9000
20	115	男	本科	90000	金融分析师	上海	电脑	每周	购物	10000
21	120	女	本科	95000	金融分析师	北京	手机	每天	理财	10000
22	125	男	本科	100000	金融分析师	上海	电脑	每周	购物	11000
23	130	女	本科	105000	金融分析师	北京	手机	每天	理财	11000
24	135	男	本科	110000	金融分析师	上海	电脑	每周	购物	12000
25	140	女	本科	115000	金融分析师	北京	手机	每天	理财	12000
26	145	男	本科	120000	金融分析师	上海	电脑	每周	购物	13000
27	150	女	本科	125000	金融分析师	北京	手机	每天	理财	13000
28	155	男	本科	130000	金融分析师	上海	电脑	每周	购物	14000
29	160	女	本科	135000	金融分析师	北京	手机	每天	理财	14000
30	165	男	本科	140000	金融分析师	上海	电脑	每周	购物	15000



■米子城下町の町家の特徴



■米子城下町の町家

町家は農家と比べて地方色が表れにくい
空家・取壊しが急増（空き家対策特別措置法施行（2015年））

これまでの町家研究は建築年代が古いもの
規模の大きなもの
が研究対象の傾向

・間取り（1列3室型・2列3室型・・・）
・二階（廊子二階から縦二階へ）
・座敷の位置（一階から二階へ）

生業別（職種別）な建築的特徴
・二軒家（二戸一戸）
・旅館・呉服屋・材木屋
パッと町家を見て生業がわかれぱ

■二軒家

・「二軒家（二戸一戸）」とは
間口の狭い町家を拡張するため二軒を一軒に合体した町家
・22件確認（感覚的にはもう倍ある）

50/700
割合多い？

柱が2本抱き合わせになつている
柱に力バーをかけて壁を抜いた痕跡を隠す
③屋根に段差がある
④室内に不自然な段差がある

柱・壁が2重

■二軒家（二戸一戸）

隣を買って合体した →ほんとに？
二軒家になつた背景
経緯

隣の土地は借金しても買え

■二軒家 事例1

・「右側と左側の主屋の建築年代がわかる事例」
・右側→大正4年（棟札）
左側→大正10年に増築（棟札）
・二軒家になつた理由
初代：昭和4（1929）年没
→隣居部屋
大正10年 大正4年

■三軒家

「増築した経緯がわかる事例」

- 中央→明治18年（棟札）
- 右側→中央と同じ時期に増築
- 左側→明治中期に増築
- 右側：使用者部屋
左側：隠居部屋

部屋名	階	面積	備考
洋室	2	3	牛込筋館・元鳥取屋・白井洋室
子供室	1	1	
玄関	1	1	五坪(5丁目)
天井室	2	7	追加軒板・子供用天井・母人用天井・五坪(5丁目)
共同玄	1	1	新設先端天井・五坪(5丁目)・五坪(5丁目)
食事室	2	4	男女洋室・洋食洋室・小上がり
洋食古筋	1.4	1.4	新設天井・洋食室・玄関脇・福岡天井・五坪(5丁目)
奥食古筋	9	9	通路天井・洋食室・玄関脇・五坪(5丁目)

2.旅館建築

二階建て・三階建ての町家の先駆者

細長い敷地に苦労してたくさん建てるには？

部屋名	階	面積	備考
洋室	2	3	牛込筋館・元鳥取屋・白井洋室
子供室	1	1	
玄関	1	1	五坪(5丁目)
天井室	2	7	追加軒板・子供用天井・母人用天井・五坪(5丁目)
共同玄	1	1	新設先端天井・五坪(5丁目)・五坪(5丁目)
食事室	2	4	男女洋室・洋食洋室・小上がり
洋食古筋	1.4	1.4	新設天井・洋食室・玄関脇・福岡天井・五坪(5丁目)
奥食古筋	9	9	通路天井・洋食室・玄関脇・五坪(5丁目)

■二軒家 考察

■成立理由

- ①生活スタイル
現在でいう二世帯住宅
- ②精神面
隣に知らない人が入って欲しくない
- ③構造面
傾きを抑える添え柱のような意味合い

二軒家は… 人間ドラマを色濃く示す建築

■旅館建築 豊例1

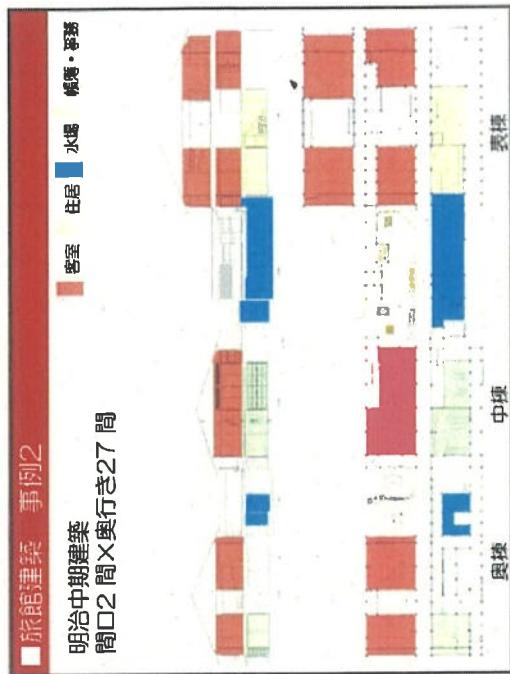
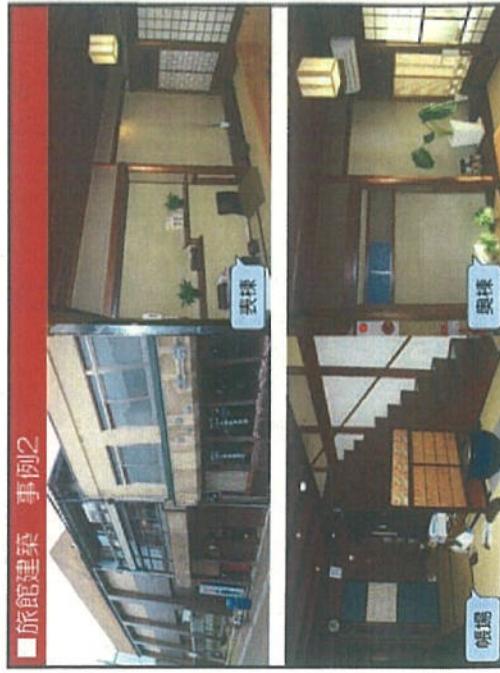
明治中期建築 別館のため居住スペースなし

■旅館建築 豊例1

明治中期建築 別館のため居住スペースなし

■宿室 生居 水槽 帷幕・幕括

■客室 中棟 表棟 奥棟



○吳服屋

■ 吳服屋 代表例
間口の広い町家の代表例

店名	社歴	店名
内藤町	1 白井吉之助	内藤町
内藤町	2 佐佐木三郎・小川伊良・飯沼甚蔵	内藤町
内藤町	3 白井吉之助・白井本蔵・白井吉之助・酒屋甚蔵	内藤町
内藤町	4 白井吉之助・白井本蔵・白井吉之助・酒屋甚蔵	内藤町
内藤町	5 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	6 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	7 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	8 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	9 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	10 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	11 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	12 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	13 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	14 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	15 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	16 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	17 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	18 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	19 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	20 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	21 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	22 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	23 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	24 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	25 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	26 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	27 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	28 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	29 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	30 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	31 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	32 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	33 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	34 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	35 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	36 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	37 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	38 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	39 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	40 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	41 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	42 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	43 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	44 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	45 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	46 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	47 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	48 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	49 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	50 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	51 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	52 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	53 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	54 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	55 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	56 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	57 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	58 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	59 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町
内藤町	60 二村良吉・二村良吉・二村良吉・二村良吉	内藤町

■ 吳服屋 座充り
密和前期で60件
町家の力腰柱5件



- ・一段高い置敷き 建具なし
- ・売り子が座充りに上がりて反物を広げ土間にいる客に見せる
- ・試着なし あてがうだけ
- ・向店 展示スペース
- ・半分以上をミセが占める 正面は部など開放的

■ 吳服屋 事例1

唯一現在も営業
文政5(1822)年建築

二階に禁菫増築

■ 吴服屋 事例2

飲食アパレル業
明治16(1883)年建築

■ 黒塗屋の特徴

- 間取り**
 - 間口が広い
間口2~25間が一般的
 - 広い土間と座壳りで構成された特徴的なミセをもつ
 - ミセ空間が半分以上を占める
 - 1列3室型や2列3室型の町家の間取りとは大きく異なる
生活空間確保のため広い間口が必要
 - 明治期に茶室を増築
商家としての繁栄
- 外観**
 - 町家的な格子はない
部戸など全面開放的



■ 利活用



米子の町家・町並み保存再生プロジェクト報告会

—明治 150 年 米子のまちなみ—

日 時 令和 3 年 3 月 14 日 (日) 14 時 30 分～16 時
場 所 米子市立図書館多目的研修室 ※定員 60 人
主 催 米子の町家・町並み保存再生プロジェクト
共 催 一般社団法人 鳥取県建築士会まちづくり委員会

開催趣旨

平成 23 年度に有志により「米子の町家・町並み保存再生プロジェクト」を立ち上げ、8 年目を迎えました。米子旧城下町に残る町家や町並みを後世に良好な状態で伝えることを目的として、悉皆的な現状把握と調査を行っています。旧城下の町家は年々取り壊されてゆく現状ですが、「歴史的、文化的資源」であることから、町並みの形成要素としての価値を認識し、1 棟でも多く後世まで残り、今後まちづくりの 1 つの要素として役立てていければと願っています。

報告会ではこれまでの活動成果をもとに、米子の町家や近代の建造物をキーワードに旧城下町に残る近代の歴史的建造物や町家についての調査報告を行います。

プログラム

14 時 00 分 開場・受付

14 時 30 分 米子の町家・町並み保存再生プロジェクト報告会

・「米子の建築 明治・大正・昭和」

和田嘉宥（米子工業高等専門学校名誉教授）

・「米子の町家」

金澤雄記（広島工業大学工学部准教授）

16 時 00 分 閉会

問い合わせ：米子まちなみ観光案内所（灘町 1-19）21-3007



まちづくり団体活動報告

2021.3.14 米子観光まちづくり公社

～with コロナ時代の観光まちづくり～

2020年度事業

観光ガイド事業

- ・2019 436回 2,936人⇒2020 193回 1,065人 ※12月末時点
- ・新規ガイドコースの造成 米子城スターウォッキングツアー
- ・ガイド料の見直し 500円/時間⇒1,000円/時間



観光案内所の運営事業

- ・地元重視の物販強化（朝市の開催、弁当販売）
- ・飲食店営業許可取得

観光土産品の開発・販売

- ・オリジナル土産品の開発
- ・オンラインショッピングの開始

観光振興・まちづくりに関するイベントの実施

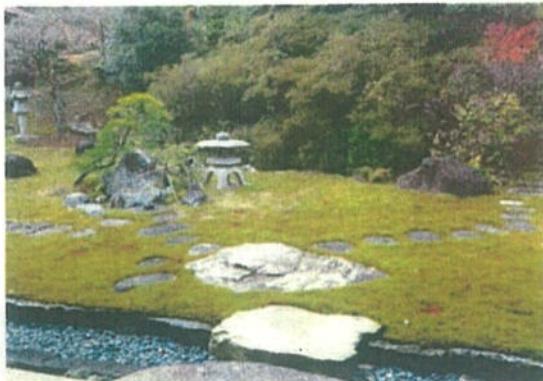
- ・クリーンアップin加茂川 2020（10月）
- ・秋の加茂川まつり開催（11月）



空き家、町家の活用その他文化遺産、観光資源の保存、再生、活用

- ・空き家、町家の活用 ⇒町家バンクの取組み実践

- ・文化遺産、観光資源の保存活用⇒町家の発掘、町家・寺社の庭園発掘



その他 2020.3.25 米子市文化奨励賞受賞

2021年度事業（抜粋）

観光ガイド事業

- ・レンタサイクルによる観光ガイドエリアの拡大
- ・カヤックによる新たな魅力 アクティビティ
- ・米子城スターウォッチングツアーの通年実施



ツアーの造成（地域密着型旅行業）

- ・雲伯名城巡りツアー、酒蔵めぐりツアー、札打ち体験ツアー など

観光案内所の運営事業

- ・地酒アンテナショップの開設

町家バンクの取組み強化

再生空き家等を活用した不動産の賃貸、管理、斡旋

- ・夢藏プロジェクトとの連携・協力
- ・空き町家を活用したまちなか美術館構想の推進？

観光振興・まちづくりに関するイベントの実施

- ・3月27日 三の丸PARK フェス出店
- ・秋の加茂川まつり？

米子市内福祉従事者離職防止事業

実施期間	令和2年10月30日～令和3年1月30日		
団体名	福祉従事者の未来を守る会	代表者	垂水 聖法
団体の主な活動			
<ul style="list-style-type: none">○ 会員及び参加者同士の悩み相談会・交流会○ 専門家（カウンセラー、社労士、コーチカウンセラー等）を招いてのセミナー実施<ul style="list-style-type: none">・自己啓発（人間関係を良好に保つ方法等）・メンタルヘルス（心の健康を保つ方法等）・労使関係の知識（労働契約、就業規則等の知識）			
総事業費	21,781円	交付金額	21,000円

様式第8号（第11条関係）

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	米子市内福祉従事者離職防止事業
事業目的	米子市内福祉従事者の、自己啓発・メンタルヘルス等を専門家の指導・アドバイスを受け、離職を未然に防止することを目的とする。
事業実施場所	米子コンベンションセンター・ふれあいの里・支え愛の店ながえ
事業の対象者	米子市内の福祉従事者
事業概要	<p>事業概要…①令和2年10月30日悩み相談会及び交流会 ②令和2年11月28日悩み相談会 ③令和3年1月30日パワーハラスマント研修（社労士講師）</p> <p>※新型コロナウイルス感染症予防の観点から事業を縮小した。</p> <p>参加人数は3名～6名</p> <p>告知方法…SNS・伝手・チラシ・米子市長寿社会課広報依頼</p>
事業効果	<p>① 悩み相談会を開催し、ストレス軽減や悩みを共有できる仲間ができたことによって離職防止に繋がった。</p> <p>② 北海道在住の福祉従事者がオンラインで参加し、交流を図れたことにより広く認知してもらえる機会となった。また、悩みを共有することにより、離職防止に繋がった。</p> <p>③ 社労士の講師を受講でき、法律観点から労使問題に対する知識を養うことができ、対処方法を学ぶことにより各職場で活かすことができた。</p>
今後の取り組み	<p>① 活動内容の質の向上…セミナー等の開催時間拡大（1時間半→3時間）</p> <p>② 会員増員し、組織強化を行う。</p> <p>次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。</p>

（注）事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第9号（第11条関係）

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
市からの交付金	72,000	21,000	△51,000	
自己資金	600	781	181	
事業収入				
その他の	18,000	0	△18,000	
合 計	90,600	21,781	△68,819	

2 支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
交付金対象経費	報償費	60,000	6,000	△54,000 研修会補助謝礼 1,500円×2人×2日
	旅費	6,000	0	△6,000
	需用費	1,200	4,716	3,516 飛沫防止パーテーション 4,356円 コピー代 360円
	役務費	0	50	50 FAX代 50円
	委託料			
	使用料及び賃借料	5,400	11,015	5,615 研修会場使用料 6,055円(3270+400円) 音響機材借上 4,960円
	その他の			
その他の経費	小計	72,600	21,781	△50,819
	飲み物代	9,000	0	△9,000
	お菓子代	9,000	0	△9,000
	小計	18,000	0	△18,000
合 計		90,600	21,781	△68,819

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。

大山で乗馬セラピーを楽しもう

実施期間	令和2年11月29日～令和3年3月21日		
団体名	特定非営利活動法人 発達障がい児親の会 CHERRY	代表者	松本 由香
団体の主な活動			
<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 保健、医療又は福祉の増進を図る活動<input type="radio"/> 社会教育の推進を図る活動<input type="radio"/> まちづくりの推進を図る活動<input type="radio"/> 人権の擁護又は平和の推進を図る活動<input type="radio"/> 子どもの健全育成を図る活動<input type="radio"/> 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動<ul style="list-style-type: none">・定例会・就学サポート・学齢期勉強会他ライフステージごとの勉強会・ボランティア研修会・専門家による講演会（年3回）・野外活動（乗馬セラピー、サマーキャンプ、沢登りなど）			
総事業費	400,500円	交付金額	250,000円

様式第8号（第11条関係）

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	大山で乗馬セラピーを楽しもう
事業目的	乗馬セラピーをつうじて、乗馬の楽しさを体感してもらうのはもちろん、秋・春それぞれの大山の魅力を再発見してもらう。 また、セラピー後は（希望者のみ）みんなでお弁当をたべる事で、お子様にはリクリエーションを楽しんでいただき、また保護者の方はとかく障がいを持つ子育てに不安や孤独を感じている人が多いのもあり、食事をしながらざくばらんに悩みを相談したり、人脈の形成の手助けを目的とする。
事業実施場所	大山乗馬センター他（西伯郡大山町赤松 2459-130）
事業の対象者	保護者、当事者（お子様）
事業概要	11月29日と3月21日に、それぞれ乗馬セラピーを開催（10月は新型コロナウイルスの影響で延期しました） 小学生以上のお子様は1人での体験も可能。それ以下のお子様は保護者との親子乗り。10時～12時までをセラピーとし、その後、任意で昼食会を開催。結果、3分の2以上の方が昼食会にも参加された。 新型コロナウィルスの問題で、開催そのものの中止も視野にいれたが、消毒などの感染拡大防止の措置をとる事で、不安の軽減にもつながったとおもう。しかしながら、当初50組を想定していた参加者は合計17組と反省の残る結果となつた。

事業効果	<p>すでに乗馬セラピーを体験済のお子様が率先して馬の乗る事で、初体験のお子様の不安の軽減につながった。乗馬は怖くなく、馬は友達という事を理解でき、楽しい一時をすごす事ができた。また、意識する事なくても体幹を活用した身体のうごきは、小さい障がいをもつお子様にとってまたとないトレーニングになった。</p>
今後の取り組み 次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住みよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。	<p>新型コロナの脅威がどこまでつづくか予断を許しませんが、ひきつづき事業を感染拡大防止の措置をとりながらつづけ、1人でも多くのお子様や保護者に、乗馬と大山の魅力や楽しさをつたえていきたいとおもいます。</p>

(注) 事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第9号（第11条関係）

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
市からの交付金	250,000	250,000	0	
自己資金	125,000	125,000	0	
事業収入	75,000	25,500	△49,500	1,500円×17組
その他の				
合 計	450,000	400,500	△49,500	

2 支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
交付金対象経費	報償費	145,000	145,000	0
	旅費			
	需用費	70,000	70,000	0 チラシデザイン・印刷費
	役務費			
	委託料			
	使用料及び賃借料	195,000	145,500	△49,500 米子-大山送迎(2回分) 120,000円 大山乗馬センター(1,500円×17組)
	その他の	40,000	40,000	0 イベント広告費
その他の経費	小計	450,000	400,500	△49,500
	小計			
合 計		450,000	400,500	△49,500

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。

環境保全の会（小波浜 湧く・ワク！親水整備事業）

実施期間	令和3年1月15日～令和3年3月30日		
団体名	環境保全の会	代表者	小武 守
団体の主な活動			
<ul style="list-style-type: none">○ 湧水箇所及び周辺水路・道路整備（委託事業を含め活動）○ 農産加工センターと連携し、湧水を利用、活用の計画を策定 (現状の活動及び湧水を利用した食品の創作ができる体制の構築)○ 地域内の特徴（史跡・名所・活動行事等）を探求しながら計画策定、行動推進する			
総事業費	328, 651円	交付金額	94, 000円

様式第8号（第11条関係）

まちづくり活動支援交付金事業報告書

事業名	小波浜 湧く・ワク！親水整備事業
事業目的	②湧水箇所整備：住民が気軽に利用、活用することのできる場所として整備 ②農産加工センターとの連携：水をテーマとした新しい発想での食品、地域づくりを推進する。 ③地域の資源・魅力発掘と共有：地域内での史跡・名所を再認識地域住民全員に認知され共有できるよう「対話と情報発信」で構築する
事業実施場所	米子市淀江町小波浜地区及び壺上山裾の周辺
事業の対象者	地域内（環境保全の会 15名・自治会90世帯）及び大和地区内の住民
事業概要	<p>（地域内の案内図看板（史跡と名所） 令和3年3月25日完成 公民館横（小波浜バス停）</p>  
事業効果	夢！想いを共有することで地域住民のパワーが更に發揮され、新しい発想での意見、行動が生まれると思う。同時に地域内を知ることが、活発な自治会活動もグレードアップされ正しい認識で、次代へつなげると思う。
今後の取り組み 次年度以降、どのように継続して事業に取り組み、また、活動の成果をどのように住まいよいまちづくりに生かしていくのか、具体的に記載してください。	<p>①湧水箇所：プロジェクトチームを中心に、周辺の造成、管理、植栽等の活動を継続する。→ 地区内のコミュニティースペースとしての視点で構築</p> <p>②農産加工センター連携：テーマに沿っての創作食品の研究を継続する。 (重点項目) キャットグループとの対話、女性グループとの共有</p> <p>③地域の資源・魅力発掘と共有：自治会・団体との連携 → 情報の開示・発信！ (重点項目) 子ども会・婦人会、親友会との対話、次世代グリーとの共有</p>

（注）事業実績報告書は、米子市報、ホームページ等で公表することもあります。

様式第9号（第11条関係）

まちづくり活動支援交付金事業収支決算書

1 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
市からの交付金	100,000	94,000	△6,000	
自己資金	220,651	203,651	△17,000	令和元年度繰越金 63,651円 地元有志からの協賛金 140,000円
事業収入		15,000	15,000	団体からの協賛金
その他の		16,000	16,000	意見交換会等の会費収入
合 計	320,651	328,651	△3,798	

2 支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考 (積算内訳)
交付金対象経費	報 償 費			
	旅 費			
	需 用 費			
	役 務 費			
	委 託 料	200,000	170,000	△30,000 案内図看板 120,000円 汲上げポンプ一式 50,000円
	使用料及び賃借料	11,000	19,000	8,000 (作業機械等借上げ料) チェンソー・草刈機・パワー・シャベル等
	そ の 他			
	小 計	211,000	189,000	△22,000
その他の経費	湧水箇所整備助成金	49,000	60,000	11,000 赤マント会
	その他	60,651	79,651	19,000 茶菓代・謝礼金・意見交換会 繰越金 6,827
	小 計	109,651	139,651	30,000
合 計		320,651	328,651	8,000

(注) 交付金対象経費の支出には、領収書の写しを添付してください。